



平成30年6月22日

各 位

東京都中央区新川一丁目28番44号
アクリーティブ株式会社
代表取締役 社長 菅原 猛
(コード番号: 8423 東証一部)
問合せ先 常務取締役 高山 浩
TEL 03-3552-8701

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である芙蓉総合リース株式会社及びその他の関係会社である株式会社ドンキホーテホールディングスについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成30年3月31日現在)

| 名称 | 属性 | 議決権所有割合 (%) | | | 発行する株券が上場されている 金融商品取引所等 |
|-------------------|--------------|-------------|-------|-------|----------------------------|
| | | 直接所有分 | 合算対象分 | 計 | |
| 芙蓉総合リース(株) | 親会社 | 51.00 | 0.0 | 51.00 | 株式会社東京証券取引所 市場第一部 |
| (株)ドンキホーテホールディングス | その他の 関係会社 | 26.15 | 0.67 | 26.82 | 株式会社東京証券取引所 市場第一部 |

2. 支配株主等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

芙蓉総合リース株式会社（以下、「芙蓉総合リース」という。）は、当社の親会社であり当社の議決権所有割合が51.00%と高く、株式会社ドンキホーテホールディングス（以下、「ドンキホーテホールディングス」という。）は議決権所有割合が26.82%と筆頭株主につぐ大株主であり、且つ、同社グループは当社の主要な取引先の一つでもあることから、両社ともに当社に対して与える影響は同等であります。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 芙蓉総合リースは、当社議決権の51.00%を所有する親会社であります。

当社と同社との間には、事務機器等のリース取引に関する営業取引があります。

当社は、事業面において、同社及び同社グループ企業が保有する顧客基盤、金融ノウハウ、人材等のリソースを最大限活用するため、連携・協力関係を積極的に構築しております。

人的関係につきましては、平成30年6月22日現在、同社より営業面及び管理面での強化の観点から人材の受入れを行っておりますが、役員の兼務はありません。

当社の事業活動上の重要事項は当社の取締役会等において討議及び決議がなされており、同社は当社独自の経営判断を妨げる状況に無いことから、一定の独立性を確保していると認識しております。

(2) ドンキホーテホールディングスは、当社議決権の26.82%を所有しており、当社は同社の持分法適用関連会社に該当しております。

当社は債権買取による金融サービスを中核の事業としており、また、サプライチェーンにおける支払企業から経理事務等の業務を受託し、業務効率化に寄与するサービスを併せて展開しておりますが、当該事業において同社グループ企業内に属する7社と取引関係があります。

人的関係につきましては、平成30年6月22日現在、当社取締役8名のうち1名が同社の兼務者ですが、当社独自の経営判断を妨げるものではなく、事業活動上の重要事項は当社の取締役会等において討議及び決議がなされているため、一定の独立性を確保していると認識しております。

4. 支配株主等との取引に関する事項

平成30年3月期における、当社と親会社である芙蓉総合リースとの間の取引及び当社とドンキホーテホールディングス並びに同社グループとの間の取引につきましては、平成30年6月21日に提出いたしました第19期有価証券報告書66頁の「関連当事者情報」をご参照ください。

5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社等と営業上の取引を行う際は、第三者取引と同様に、取引内容及び条件は公正かつ適正な手続きを経て決定しております。そのため経営に関する意思決定等が親会社等との間で恣意的に行われることはなく、支配株主を利する取引、当社ひいては少数株主に不利益な取引はないと考えております。

以 上